

決算説明会 質疑応答(要旨)

(2019年度)

Q1. 機械コンポーネントセグメントの利益率が低い理由は。

A1. 最も収益性の高い中型機種が低迷するなど、機種構成差の影響によるものです。M&Aによるのれんも影響しています。また、開発投資を積極的に実施した結果でもあります。

Q2. 環境プラントセグメントの受注が低迷した理由は。

A2. 国内の循環流動層(CFB)ボイラの成約時期が影響しています。また、2018年度と比較して、小型の案件が多い状況でした。国内のボイラ市況に、大きな変化はありません。海外では、欧州や東南アジア地域での案件減少等が影響しています。

Q3. 現在の国内の市況は。

A3. 新型コロナウイルス感染症の影響は、未だそれほど大きくはありません。6月以降、影響が顕著になると想定しています。

Q4. 2020年1～3月の海外の市況は。

A4. 前年同期と比較して、変減速機で10%強、プラスチック加工機械で18%程度、油圧ショベルで20%程度、売上高が減少しています。

Q5. 2021年3月期の連結業績予想を公表できない理由は。

A5. 新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか見通すことができません。下期から緩やかな回復基調と仮定すると、2020年3月期と比較して、売上高で1～2割程度減少、営業利益で5～7割減少すると想定しています。

以上